

大分市地域まちづくりビジョン

佐賀関地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第4号

発行：令和5年3月1日 佐賀関地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、取組状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

令和4年度

佐賀関地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

■令和4年11月10日(水)14:00～

■佐賀関市民センター 研修室



フォローアップ会議の様子

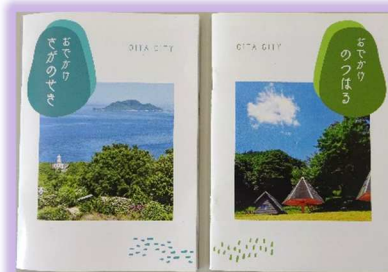
■地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況及び意見交換会の内容(抜粋)

●【提言1】人が集まる観光振興対策

【事業の取組状況】

《市》

- ・佐賀関支所に所属されていた「地域おこし協力隊員」が佐賀関地域で気軽にランチを食べられるお店を紹介する「さかのせきランチマップ」を作成し、観光案内所や各支所などに設置し紹介をしています。また、野津原地域と合同で地域のインスタ映えスポットを紹介した「おでかけ さかのせき」「おでかけ のつはる」というフォトブックをイベント等で配布し情報発信をしています。
- ・空港連絡バス「エアライナー」のラッピング広告を活用した関あじ・関さばや関崎灯台等のPRを行っており、ラッピングバス周知のためのInstagramキャンペーンを行うなど魅力発信に努めています。
- ・平成29年度から旧大志生木小学校にて、地域とアーティストが連携したアートイベント「開校！大志生木こどもアート学校」を継続して開催しており、アトリエを利用している7名のアーティストと地域住民の協力により地域の賑わいの創出を図っています。
- ・旧大志生木小学校にグラウンドゴルフ場を整備し、令和3年11月より地域住民の健康増進用として活用しています。



《地域・個人》

- ・「サマーフェスタ2022」を企画し、ご当地商品の開発（関ぶりバーガー、じゃこカツライスバーガー、チキン南蛮バーガー）をし、販売を行っています。（国道九四フェリー）
- ・令和4年より YouTube を活用して、一本釣り漁法や漁協の面買い方式・出荷方法など消費者に配送するまでの映像を作成しPRを行っています。（大分県漁協佐賀関支店）

【右ページに続きます】

◎提言及び取組事業についての詳細は裏面をご参照ください。

提言1の続き

【会議の中で出された意見・要望】

- ・佐賀関半島の海岸線沿いはとても綺麗な風景があるのに、一部バス等が通れない所がある。道も県道や市道などいろいろあるようですが、少し改善をしてもらいたいと思います。
- ⇒《市》佐賀関循環線は県道であるため大分県の管理となります。現在、幸の浦から小黑間の一部整備を進めており、完了後も引き続き整備を検討していると大分県より回答をいただいておりますが、具体的な区間は決まっています。引き続き市から改善要望をあげていきたいと思っています。

●【提言2】コミュニティの維持・活性化

【事業の取組状況】

- 《市》地域まちづくり活性化事業である「関崎シーサイドウォーキング」は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでしたが、令和4年度は感染予防対策を行ったうえで、開催し、地域の活性化に努めます。
- 《地域・個人》海岸清掃や海開きの際に、南日本造船（株）の技能実習生に参加いただき交流を深めています。（こうざき校区まちづくり協議会）

●【提言3】便利で快適なまちづくり

【事業の取組状況】

- 《市》令和3年度より佐賀関支所を基点として国道九四フェリー、佐賀関病院、関あじ・関さば館等を結ぶ循環型のルートで低速電動バス（グリーンスローモビリティ）を平日1日6便により実験運行を行っています。



【会議の中で出された意見・要望】

- ・交通ネットワークの関係で臼津交通の利用が少ないという事ですが、1日にどれくらいの利用者がありますか ⇒佐賀関・一尺屋間の便については、1便当たり0.9人と少ない状況でありますので、公共交通機関を利用してみんなの力でバス路線を残していくという気持ちが大切だと思いますので協力をお願いします。
- ・グリーンスローモビリティについて、ルートの見直しの協議をさせてほしい。
- ⇒《市》ルートの変更やダイヤの見直し等については、現在の利用状況や道路状況を踏まえて検討が必要と思います。現在1日6便運行し、ほぼ全ての便に利用者がいらっしゃいますので、利用者に対するアンケートも行いながら来年度以降の運行をどうするか検討しています。
- ・グリーンスローモビリティは現在実験運行となっていますが、いつまで実験運行をされる予定となっているのか教えていただきたいと思います。
- ⇒《市》来年度以降の運行については、現在担当課内で協議を行っているところであります。全く行われなくなるという事はないと思いますが運行形態等について検討している状況です。

●提言1～3の複数に関係するもの

（事業名）さまざまな地域資源を生かした人が集まるまちづくり

【事業の取組状況】

《市》

- ・令和3年度より関崎海星館周辺の散策や関崎灯台へのアクセス改善を図るための、遊歩道整備に取り組んでいます。
- ・関崎海星館は令和2年度に基本設計を行い、単なる改修ではなく魅力を高める整備を進めており、展示の充実や天体望遠鏡の更新、プラネタリウムの設置等を行い、皆様に長く喜ばれ愛される施設となるよう取り組んでいます。オープンについては令和5年夏頃の予定です。
- また、アクセス道路についても引き続き道路管理者である大分県へ幅員の狭小部分の解消等の働きかけを行ってまいります。



■問い合わせ：大分市市民部佐賀関支所 TEL：575-1111 ■（本閲覧物は本分市ホームページにも掲載しています。）

「佐賀関地域まちづくりビジョン」とは

急速な少子高齢化が進む中、大分市においても今後人口が減少することが予想され、地域住民同士の支えあいや交流が少なくなるなど、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題を解決するためには、行政が地域の実情や意向などを的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的として、市内13地域において、各地域の代表者等でつくる「地域ビジョン会議」を設置し、その中でそれぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域のまちづくりを進めるうえで目指すべき将来像として「佐賀関地域まちづくりビジョン」を策定しました。

【佐賀関地域の対象校区】

佐賀関地域まちづくりビジョンは、本神崎・木佐上・大志生木・関・一尺屋の5校区を対象としています。

【佐賀関まちづくりビジョンの将来像】

来て良し 住んで良し 美しい佐賀関

【これからのまちづくりに向けた市長への提言】

提言1：人が集まる観光振興対策

本地域は豊かな自然から生まれた海の幸・山の幸、海水浴場、観光スポット、市外の方も楽しめる地域伝統行事など、観光資源が多くあります。

地域資源をより有効に活用するため、分かりやすい情報の発信や、観光客が来たくするような拠点・仕組みづくりが求められます。

提言2：コミュニティの維持・活性化

都市部と比較すると、住民同士の関係が密接で、行事などの住民交流、高齢者の見守りや災害時の助け合い体制が構築されています。

このような体制を維持していくために、次世代を担う若者も交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取組が必要です。

提言3：便利で快適なまちづくり

本地域は自然環境が豊かな一方、住宅や交通の便が少ないことや買物・娯楽施設の不足、農作物への有害鳥獣被害などの弊害があります。

美しい自然環境を保持しながらも、生活の利便性を向上するための基盤整備や支援を望みます。

【提言に基づく事業提案と概要】

提言	番号	取組事業名と概要
提言1	①	佐賀関中心部の観光振興(インフラ整備) ・支所周辺に観光客が食事をできる場所や土産店をつくり、駐車場を整備するなど人を呼び込む仕掛けをつくり、まちを盛り上げる。
	②	大志生木小学校跡地の利活用 ・アクセス道路の整備と合わせ、グラウンドは公園やテニスコートに、校舎はいこいの場やアーティストのアトリエ・工房などに整備、利用する。 ・地域と行政が協力し、アートイベント等を地域の行事と連携しながら実施して地域のにぎわいにつなげる。 ・ツールド佐賀関のようなサイクリングイベントを開催し、大志生木小学校跡地を休憩ポイント等の拠点として利用する。
	③	人が集まるまちづくり ・日豊海岸国定公園の美しい景観や早吸日女神社、関崎灯台、関崎海星館から見た早吸瀬戸・高島など、観光資源をPRするためボランティアガイドと連携したまちづくりを行う。 ・「関あじ・関さば」の知名度を向上し、観光客を増やす。 ・「一尺屋みかん」をPRし、収穫体験などにより農業振興に取り組む。
	④	地域のホームページ作成・情報発信 ・各校区のホームページ等を作成して、地域の観光資源や名産をPRする。
提言2	⑤	高齢者が安心して住めるまちづくり事業 ・総合病院である佐賀関病院と連携して健康づくりを推進する。 ・気軽に高齢者が集まれるミニサロンを開催する。
	⑥	若者も参加する地域まちおこしイベントの実施 ・NPOや商工会議所のほか、行政も入って多くの人が参加するイベントを実施し、地域のために活動できる若者を育成する。
提言3	⑦	交通弱者対策事業 ・JRと連携し、JR幸崎駅から佐賀関半島循環バスを運行する。 ・バスとJR幸崎駅との接続の利便性向上。 ・高齢者にもっと出掛けてもらうため、ワンコインバス(現、長寿応援バス)やコミュニティバス、乗合タクシーの運行を行う。
	⑧	有害鳥獣の捕獲拡充とジビエ料理への活用 ・イノシシ等の狩猟免許の規制緩和による捕獲と、ジビエ料理の研究・販売・提供に係る施設等を整備し供給を拡大する。
提言1・2	⑨	さまざまな地域資源を生かした人が集まるまちづくり ・関崎灯台、関崎海星館(アサギマダラを含む)、縦の木山セラピーロードなどの資源を生かした観光ルートを作り、道路網や案内板等も整備する。 ・JR幸崎駅から、かつての軽便鉄道の廃線敷をたどって佐賀関バスセンターまで、約10kmの「さかのせきサイクリングロード」をPRする。 ・関崎海星館のプラネタリウム等の設置や学校跡地を活用した青少年の教育拠点の整備を行う。
提言1・3	⑩	佐賀関港周辺の再開発や整備 ・佐賀関港から支所周辺までの動線を整備し、買い物場所や釣りスポットをつくる。 ・佐賀関港から支所周辺まで自動運転車両を運行し、人の流れをつくる。
提言2・3	⑪	幸崎駅を中心とした定住化促進事業 ・高齢者や認知症の方を集めて実施している食事会などの福祉活動を市の支援を受けながら拡充する。 ・幸崎駅周辺市有地の活用について、地域と行政と一緒に協議し、空家、空地の活用や住宅整備を行う。 ・各校区で「まちづくり協議会」を設立し、市民参画のまちづくりを実施する。